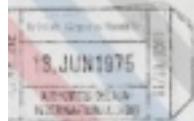


ORITY



今回のご紹介は、『**ロマンシエ**』  
原田マハ著 小学館文庫 2019年です。

“ロマンシエ”は、フランス語で“小説家”。  
主人公の“美智之輔”は、美大生で心は乙女な美男子。同級生の高瀬君への想いを告げずに、美大卒業後憧れのパリへと旅立ち、歴史あるリトグラフ工房のidemでリトグラフ制作に取り組むことになります。idemは、マティスやピカソといった巨匠も利用した、1世紀以上に渡って伝統が引き継がれている現存する美しいアトリエです。そこで巡り合う個性豊かな人達とともに恋愛で悩んだり、生き方や将来について考えて立ち止まることもあります。文体はPOPにどんどん進みます。美智之輔はお洒落で、身につけるブランドや実在のCAFÉ、レストラン、建造物も作中で案内しますからパリに行ってみたくなりすよ。そして結末は・・著者は原田マハさん。それまでの、史実をベースにしたフィクション＝「アート小説」とは違ったテイストの、パロディ満載(映画監督のデヴィッド・ローンチ デヴィッド・リンチ?)のラブコメディですが、小説世界を現実の展覧会につなげて終結させたところは、さすがキュレーターです。単行本刊行当時には、この小説とリンクした展覧会が東京ステーションギャラリーで開催されました。東京ステーションギャラリーは駅舎内にありながら周囲の雑踏も忘れて展示作品の世界に浸れる素敵なギャラリーです。  
悩みの真ん中にいる人たちにもお薦めしたい一冊です。

